

1 はじめに

ふるさと学習部会は、栃木市が目指す「ふるさとの風土ではぐくむ人づくり・まちづくり」のもと、郷土への愛着や誇りをはぐくむ「ふるさと学習」が本年度より研究的に実践されるようになることを受けて、新設されました。

「ふるさと学習」は、「栃木市ふるさと学習全体構想」に示されているように、『「ふるさと栃木市」のよさを理解し、ふるさとに対する愛着や誇りをもった地域の担い手を育成する』ことを大きな目標としています。まず、研究初年度に当たって、私たちは、これまで各教科や総合的な学習の時間等で行われてきた市や地域に関する学習を「ふるさと学習」の視点で見直し、それぞれの地域でどのような学習が行われてきたかを紹介したり、今後どのような学習が展開できるかを構想したりすることが大切なのではないかと考えました。

そこで、「ふるさと学習」の教材となり得る地域素材の情報収集とその教材化に取り組みました。今年度は、栃木市を流れる巴波川周辺にしぼって地域素材の調査を行いました。また、「ふるさと学習」の実際の取組として、その巴波川を教材とした部屋小学校の総合的な学習の時間における実践例をご紹介します。今後の授業実践にお役に立てば幸いです。

2 事業内容の紹介

(1) 地域素材の情報収集

＜巴波川沿いの地域素材について＞ → 巴波川マップ参照（別紙）

栃木市は、かつて巴波川を利用した江戸との舟運で栄えた町である。栃木市内の巴波川沿いには「ふるさと学習」の素材となる場所がたくさんある。

＜日光例幣使街道沿いの素材について＞

日光例幣使街道とは、徳川家康の没後、東照宮に幣帛を奉獻するための日光例幣使例幣使（天皇の勅使）が通った道である。五街道の一つである中山道の倉賀野宿を起点として、楡木宿にて日光西街道と合流して日光へ至る。栃木市は、かつて巴波川の舟運とともに日光例幣使街道の宿場町として栄え

た商都でもある。その栃木市の中でも嘉右衛門町周辺が、日光例幣使街道に沿って形成された当時の敷地割を今によく伝えている。同町の日光例幣使街道沿いの地区は、平成24年7月9日、文部科学大臣から重要伝統的建造物群保存地区に選定された。



教材として考えられるもの（番号は図中の番号）

① 栃木秋祭り

この祭は江戸の山王祭で引き回されていた「静御前の山車」や、「諫鼓鶏の山車」を明治7年に栃木の商人が買い取り、県庁構内で行われた神武祭で披露したことを起源とする。昭和12年の市制施行祝賀を境に、おおよそ5年ごとに開かれることとなり、現在では隔年開催となっている。

（社会・総合・生活）

② 岡田記念館・翁島

岡田家は550年以上の歴史を持つ旧家であり、江戸時代には畠山家の陣屋となっていた。岡田家は江戸時代初期に未開地を開墾して村民に生活の基礎作りを指導し、安定した村落づくりに貢献した。以来、当主の名を取り、この地を嘉右衛門新田（現嘉右衛門町）と称した。翁島は岡田家22代

目当主が宮大工を使って建築した工匠の技の結晶。杉・桧・檜など銘木を集め、釘を一切使っておらず、10mの檜一枚廊下は贅の極み。隅々に最高の建築技術が用いられている。

(生活・社会・総合)

③ 油伝味噌

江戸の天明年間に初代・油屋伝兵衛が油店として創業。その後幕末に2代目が味噌の醸造を始めた。国産大豆を原料に、蔵で明治時代から使っている木製の樽を使い天然熟成させた無添加味噌を作っている。

(社会・生活・総合)

巴波川マップ

岩船山



よしず作り



避難用の船



水塚



新波河



部屋河岸



船置き場



蔵の町の町並み



標茅が原



旧巴波川



馬力神



平柳河岸



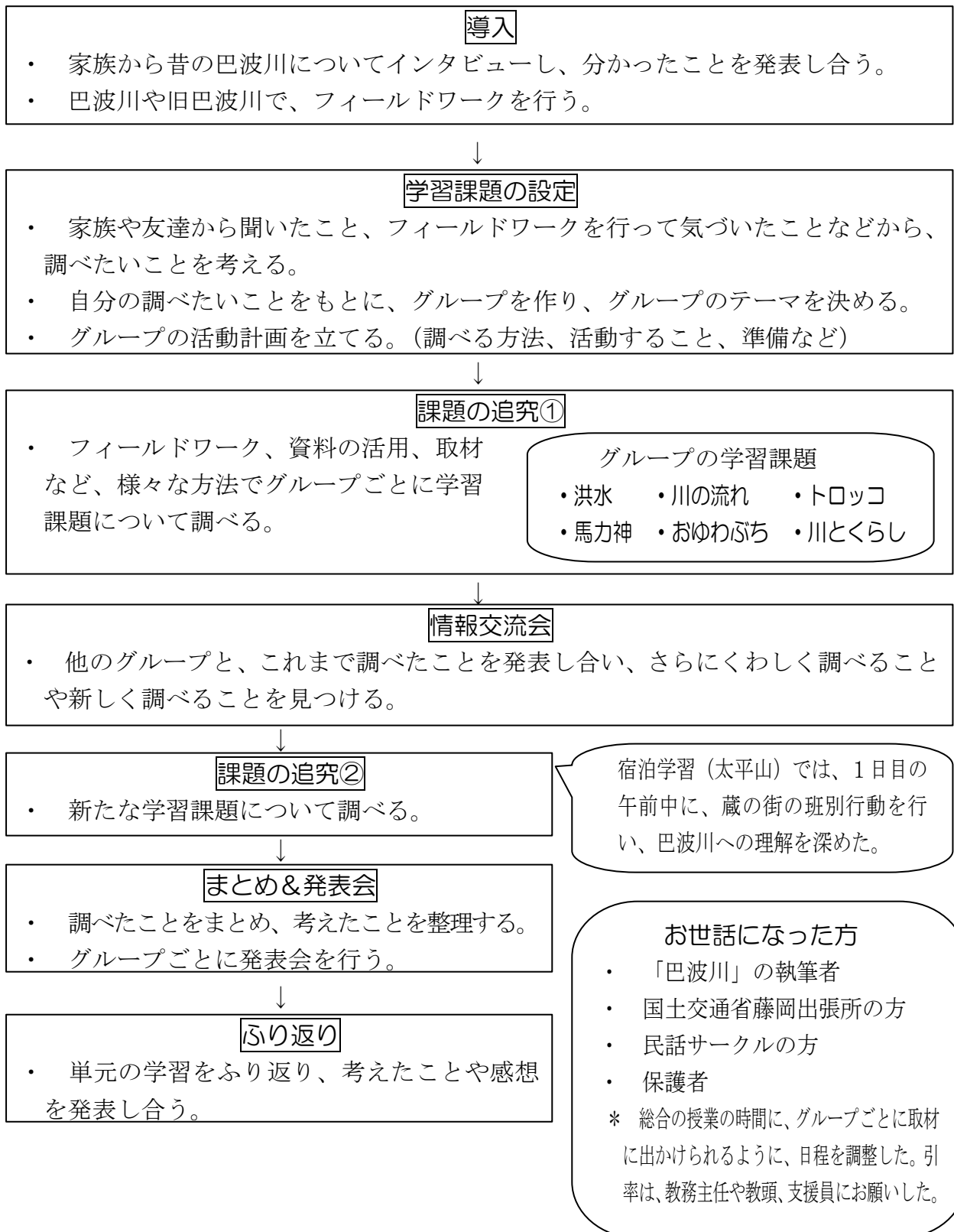
(2) 部屋小学校の実践事例

① 「総合的な学習の時間」単元作成の手順

- ・ 学校課題として、職員で単元についてアイデアを出し合ったり、地域で活用できる素材の洗い出しを行ったりしたものを参考に、担任が単元の構成を考えた。

② 単元の学習の進め方 ～4年・わたしたちの巴波川～（22年度の取り組み）

※事前準備として、夏休みの職員研修で巴波川周辺のフィールドワークを実施した。



③ 他学年の取り組み

1・2年生活科「くさもちづくりをしよう」

… 巴波川の土手で摘んだよもぎを使って、祖父母と一緒に草餅を作る。

3年総合「見つけたよ！部屋の自然」

… 「総合」の課題解決学習の入口として、地域の自然（巴波川土手の植物や昆虫など）を調べる。

4年総合「発見！地域の伝統を知ろう」

… 甘露煮・よしず・提灯作りについて、調べ学習や体験活動を行う。

5年総合「部屋小学校の歴史を知ろう」

… 地域の方や家族に取材をして、昔の学校の様子（学校行事・学習・校舎）を調べる。

5年総合「お米作りをしよう」

… 田植え・稲刈りなどの体験、育苗や脱穀、粃すりの見学を行う。また、部屋地区のお米についての調べ学習を行う。

6年総合「日本文化を知ろう」

… お囃子（男子）と着付け（女子）を地域の方に教わり、運動会種目「日光和楽踊り」として、発表する。他にも生け花、三味線、和菓子作り、水墨画の体験学習を行う。



1・2年「くさもち作り」



4年「地域の伝統を知ろう」



5年「お米作りをしよう」



6年「日本文化を知ろう」

3 おわりに

8月に巴波川周辺の調査活動を行いました。栃木市民には親しみのある川ですが、改めて調べていくと、川の源流から下流への流れの変化やそこに生息する生き物・川にまつわる歴史など、児童の知的好奇心を揺さぶる教材として大いに活用できる素材がたくさんあることを実感しました。また、調査活動をする中で、自分の住む地域のよさを誇りに思い大切にしている人々の思いにも触れることができました。私たちは、児童生徒に対しても各教科等の学習の中でふるさとの教材を活用した学習を通して、自分のふるさとである栃木市を大切に思う気持ちを育みたいと強く感じました。

今年度、各学校で地域の特色を活かしながら「栃木市に対する誇りと愛着」を育てる取組が、各教科の学習や総合的な学習の時間等を通して行われていることと思います。栃木市教育研究所「ふるさと学習部会」としましても今後も情報を収集し、教材の開発や「ふるさと学習」に関する情報の発信を進めていきたいと思っています。